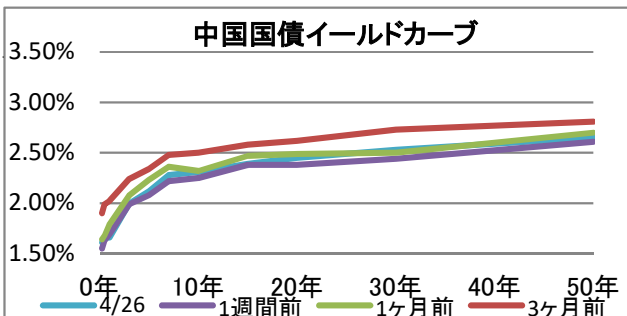
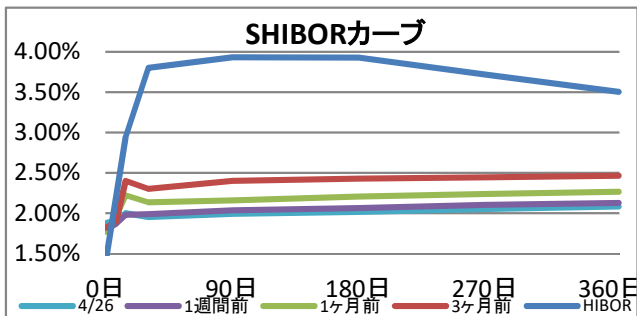


基準レート		2024/4/26	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	7.1056	+0.0010
	JPY/CNY	4.5967	-0.0362
SHIBOR	3M	1.9930%	-0.0420%
国債利回り	10年	2.31%	+0.06%
上海総合指数		3,088.64	+23.38



(1) 概況

国際金融市場では、中東情勢や企業決算を受けたリスクオフの状況から、中東情勢緊張緩和への期待や米国金融政策を占う重要指標の発表を控えて買戻しが入る調整相場となっていたが、注目された米GDPがスタグフレーション的な内容だったことから、株式と債券が共に売られる展開となった。外為市場では、米国経済への懸念からややドル安となる中、円は日本銀行の金融政策決定会合で政策金利が据え置かれ、一部で報道されていた量的引締めもなく、その後の総裁会見において、円安が直接的な金融政策変更の判断材料にならないことが確認されると急落し、円独歩安の展開に。

中国金融市場では、月末と連休を前に資金需給がややタイトになる中、欧米ファンドの中国株投資判断引上げを契機として株式市場が続伸し、債券市場では歴史的な低水準となっていた利回りが上昇に転じたものの、外為市場では月末のドル需要の高まりもあって、当局による基準値の元高設定や国有銀行による元買い介入にも関わらず元安が進行。

中国では、習主席が米國務長官との会談で「両国はライバルではなくパートナーであるべき」と関係改善の必要性を主張し、李強総理は、北京モーターショーにおいてインテリジェントコネクテッド・新エネ車の開発推進により、自動車産業の高度化を促進する方針を強調し、テスラCEOとの会談で、外資系企業による対中投資を支援する方針を示し、資本市場の改革深化と発展促進をテーマに國務院会議を主催。商務部等は、新エネ車への買い替えに1万元（約22万円）の補助金を支給する自動車の買い替え補助金実施細則を公表し、中国人民銀行等は、大規模設備更新及び消費財の買い替えに対する金融業務推進会議で、金融面の支援方針を確認。財政部は、人民日報掲載論文で、中銀による公開市場操作での国債売買増加を支持するとの意見を表明し、中国人民銀行は、金融政策手段として、流通市場で国債を売買する可能性があるとの記事を掲載し、最優遇貸出金利は据え置き。国家金融監督管理総局は、グリーン保険の高度な発展推進に関する指導意見を公布し、証監会は、「習近平主席の金融業務論述の抜粋」の出版を受けて、市場化・法治化の下で金融革新を推進するための資本市場の役割を強調し、不動産関連では、中国恒大の監査を巡り香港会計・財務報告局がPwCへの調査を開始したほか、不動産大手・碧桂园の元建て債支払い延期の報道があった。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日100億元、中央国庫定期預金期日700億元に対して、リバースオペ100億元を実施し、ネットで700億元を吸収。

(3) 主な経済指標

特になし。

② 資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.8790%	1.8790%	1.5900%	
1W	1.9120%	1.9120%	1.9000%	1.8500%
2W	2.0020%	1.9700%	2.0000%	1.8800%
1M	1.9520%	2.1000%	2.0000%	1.9000%
3M	1.9930%	2.7000%	2.0500%	2.0000%
6M	2.0180%	2.0180%		2.0500%
9M	2.0510%			2.1100%
12M	2.0820%	3.0000%		2.1200%

中国人民銀行はLPR金利を据え置き、量的緩和への期待は根強いものの、元安要因となりかねない金利水準を大きく下げるものになるとは考えにくいとの認識もあり、月末が近づき資金需給もややタイトになると、金利水準は上昇に転じている。

NCD市場においても、金利低下余地の乏しさが意識され、ターム物金利は、1ヶ月は1.9%前後、3ヶ月は1.9%台後半、6ヶ月は2.0台前半、1年が2.1%前後への上昇に転じている。

(2) ミドル資金 (本土内)

	BID	OFFER
ON	5.44%	5.45%
1W	5.75%	5.77%
1M	5.70%	5.75%
3M	5.73%	5.78%
6M	5.75%	5.80%
12M	5.90%	6.00%

中国国内市場では、利下げ時期の後退を織り込む動きが一段と強くなり、ターム物の金利水準は5.75%を中心とする順イールドに戻っている。

③ 人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.61%		1.97%	2.05%	2.21%
6M	1.66%		2.01%	2.07%	2.23%
1Y	1.66%	1.83%	2.11%	2.13%	2.28%
3Y	2.00%	2.13%	2.26%	2.35%	2.54%
5Y	2.12%	2.21%	2.30%	2.48%	2.78%
10Y	2.31%	2.44%	2.51%	2.66%	3.22%

米国債券市場では、堅調な経済指標を背景とするFRBの年内利下げに対する期待が大きく後退する格好で利回りの上昇が続いているものの、中長期ゾーンの上昇幅は限定的。中国債券市場では、LPR金利が据え置かれ、月末に向け資金需給がタイトになる中で早期の金融緩和期待は後退し、欧米の大手金融機関による中国株式への投資ウェイト引き上げ方針を契機に株式市場が上昇に転じると、債券利回りは上昇に転じた。この結果、10年米国国債利回りは4.66%（前週末比+4bp）へと上昇を続け、10年中国国債利回りが2.31%（同+6bp）への上昇に転じたことから、利回り差は235bp（同-2bp）と、小幅ながら縮小に転じている。

中国債券のイールドカーブは、歴史的低水準（債券価格は高値）にあることや外為市場で元安に反転の兆しが見られない中で株式市場が上昇に転じると、金融緩和期待が後退して、上方にシフトし、小幅なスティーピングに転じている。クレジットスプレッドは、利率債の利回り上昇幅が相対的に大きくなっていることから、縮小傾向を維持している。

④ 先物為替市場

	USD / CNY
1M	-230.9 / -230.0
3M	-693.0 / -690.0
6M	-1,425.0 / -1,420.0
9M	-2,148.0 / -2,143.0
12M	-2,870.0 / -2,867.0

対ドル基準レートは7.1056と前週末比+10pipsのドル高元安、対円基準レートは4.5967と同-362pipsの円安元高と、対ドルで大幅な元高水準での設定が続いている。中国国内市場では、金利差や月末のドル需要に加え、国外投資資金の流出もあって元安傾向が続いたものの、欧米の大手金融機関の中国株式再評価を受けて投資資金の流れが変わっており、7.25を目前に元安の動きが一服している。

先物は、米国の金利上昇を材料に1年物が-2900台半ばまでディスカウント幅の拡大が続いていたものの、週後半に中国でも金利が上昇に転じたことからマイナス幅が-2800台に戻す展開となった。

⑤ 金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	1.97%		1.75%
6M	1.97%	2.02%	1.75%
9M	1.98%	2.05%	1.75%
1Y	1.98%	2.07%	1.68%
3Y	2.02%	2.13%	1.85%
5Y	2.15%	2.28%	
7Y	2.24%	2.36%	
10Y	2.31%	2.43%	

金利スワップ市場では、債券利回りが上昇に転じたことを受けて上昇しており、債券利回りとの差であるスワップスプレッドも総じて拡大に転じている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何かの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。